

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	5 年次	理数物理	2 単位	改訂 物理（第一学習者）

科目のねらい

物理的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	運動とエネルギー	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方に基づき，物体の運動を観察，実験などを通して探究し，力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に理解させ，それらを活用できるようにする。 【観点A、B、C、D】
後期	波動	水面波，音，光などの波動現象を観察，実験などを通して探究し，共通する基本的な概念や法則を系統的に理解させるとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 【観点A、B、C、D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	5 年次	理数化学	2 単位	改訂 化学（第一学習社）

科目のねらい

化学的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	化学と人間生活 物質の変化	化学反応の量的関係，酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察，実験などを通して探究し，化学反応に関する基本的な概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。化学反応に伴うエネルギーの出入り，反応速度及び化学平衡を観察，実験などを通して探究し，化学反応に関する概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 【観点A、B、C、D】
	無機物質の性質と 利用 物質の構成	無機物質の性質や反応を観察，実験などを通して探究し，元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。また，物質の性質について観察，実験などを通して探究し，化学結合と物質の性質との関係を理解し，物質について微視的な見方ができるようにする。 【観点A、B、C、D】
後期	物質の状態と 化学平衡	気体，液体，固体の性質を観察，実験などを通して探究し，物質の状態変化，状態間の平衡，溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。化学反応に伴うエネルギーの出入り，反応速度及び化学平衡を観察，実験などを通して探究し，化学反応に関する概念や法則を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 【観点A、B、C、D】
	有機化合物の 性質と利用 高分子化合物の 性質と利用	有機化合物の性質や反応を観察，実験などを通して探究し，有機化合物の分類と特徴を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。高分子化合物の性質や反応を観察，実験などを通して探究し，合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 【観点A、B、C、D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	5 年次	理数生物	3 単位	改訂 生物（東京書籍）

科目のねらい

生物や生物現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	生命現象と物質 Unit 1 「生体構造と細胞」「エネルギーと代謝」	生命現象を支える生体構造とそのはたらき，物質の働きについて観察，実験などを通して探究する。 【観点 A, B, C, D】 ※Unit テスト（観点 BCD の見取り）、レポート（ペーパークロマトグラフィによる光合成色素の展開実験）
	生命現象と物質 Unit 2 「タンパク質の構造と酵素の働き」	タンパク質や核酸などの物質の働きを理解し，生命現象を分子レベルでとらえる。 【観点 A, B, C, D】 ※Unit テスト（観点 BCD の見取り、レポート（カタラーゼのはたらき）
	生物と遺伝子 Unit 3 「遺伝子情報の発現」	生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解し，生物についての共通性と多様性の視点を身に付ける。 【観点 A, B, C, D】 ※Unit テスト（観点 BCD の見取り、レポート（動物の染色体の観察）
後期	生殖と発生 Unit 4 「生殖と発生」	生物の生殖や発生について観察，実験などを通して探究し，動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。【観点 A, B, C, D】 ※Unit テスト（観点 BCD の見取り、レポート（カエルの発生モデル）
	生物の環境応答 Unit 5 「動物の刺激受容と反応と行動」「植物の環境応答」	環境の変化に生物が反応していることについて観察，実験などを通して探究し，生物個体が外界の変化を感知し，それに反応する仕組みを理解する。【観点 A, B, C, D】 ※Unit テスト、レポート（植物の屈曲、筋肉の観察）

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	5 年次	理数地学	2 単位	地学 改訂版（啓林館）

科目のねらい

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方はたらかせ、見通しを持って観察・実験をおこなうことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心を持ち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、科学的な見方や考え方を身に付け、事象を的確に考察し表現している。
C	観察・実験の技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を科学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	地球惑星科学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	地球の概観と構造 Unit 1 「地球をはかる」 実験・観察レポートの作成	地球上での観測について観察、実験などを通じ探究し、直接アプローチすることのできない地球について理解する。 【観点 A, B, C】
	地球の活動 Unit 2 「プレートテクトニクス」 地震・火山に関する生徒授業	変動する地球について観察、実験などを通して探究し、地球がプレートの運動によって変動し様々な現象が発生することを理解する。【観点 A, B】
後期	火成活動、変成作用 Unit 3 「岩石の分析」 持参した岩石資料の同定報告	身近な岩石を資料として、観察、実験などを通して探究し、岩石の分類や特徴を理解し、その成因や背景を知ることの意義を理解する。【観点 A, C】
	大気と海洋の構造と運動 Unit 4 「大気と海洋」 ある日の気象現象に関する解説	地球の大気と海洋の事物・現象を観察、実験などを通して探究し、大気や海洋の構造・運動を理解する。 【観点 A, B】
	自然環境と人間生活との関わり Unit 5 「地球環境の恵みと自然災害」 環境問題解決に向けての提言	地学的な事物・現象について、目的意識をもって観察、実験などを行い、地球の環境と人間生活とのかかわりについて考察する。【観点 A】

※ Unit ごとに知識・用語の定着を確認するために、記述式試験を実施する【D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数物理発展 A	2 単位	改訂 物理基礎（第一学習者）

科目のねらい

物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	力と運動	力と運動の関係についての基礎的な見方や考え方に基づき、力と運動に関する概念や法則を系統的に理解して活用できるようにする【観点A, B, C, D】
	エネルギー	様々なエネルギーに関しての概念に基づき、基本的な原理や法則を理解して、活用できるようにする。【観点A, B, C, D】
	波動	水面波、音などの現象に共通する現象についての基礎的な見方や考え方に基づき、日常生活と関連付けて考察できるようにする。【観点A, B, C, D】
後期	電気	電気や磁気に関する現象について、基本的な原理や法則を理解して、活用できるようにする。【観点A, B, C, D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数物理発展B	6 単位	改訂 物理（第一学習者）

科目のねらい

物理的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	電気と磁気	電気や磁気に関する現象を観察，実験などを通して探究し，電気と磁気に関する基本的な概念や原理・法則を系統的に理解させるとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。【観点A，B，C，D】
後期	原子	電子，原子及び原子核に関する現象を観察，実験などを通して探究し，原子についての基本的な概念や原理・法則を理解する。【観点A，B，C，D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数化学発展 A	2 単位	改訂 化学基礎（第一学習社）

科目のねらい

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	UNIT1 「化学基礎の知識と応用」	①既習事項の確認を通して、化学的な事物・現象に対する理解を深める。 ②①の知識を応用し、実験活動を通して理科の見方・考え方を働かせる方法を学び、科学的に探究するために必要なスキルを学習する。 ③①、②の活動について学習前後の変容を中心に振り返り、成果物としてまとめる。 【観点A、B、C、D】
後期	UNIT2 「化学の応用と発展」	前期の活動から自らに必要な力を振り返り、自己課題として設定し、実験や演習に取り組む。 【観点A、B、C、D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数化学発展B	4 単位	第一学習社 改訂化学

科目のねらい

化学的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	①無機物質 ②有機化合物 ③高分子化合物	<p>①無機物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非金属元素の単体と化合物についてその性質・製法・利用を学習する ・典型金属元素の単体と化合物についてその性質・製法・利用を学習する ・遷移元素の単体と化合物についてその性質・製法・利用を学習する <p>②有機化合物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の化学式を決定するまでの過程を学習し，その原理を理解する。 ・脂肪族炭化水素について，その性質や用途を学習する。 ・酸素を含む脂肪族化合物について，その性質や用途を学習する。 ・芳香族炭化水素について，その性質や用途を学習する。 <p>③高分子化合物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類や特徴，および合成方法を学習する。 ・糖類、タンパク質、核酸などの構造や性質について学習する。 ・石油などを原料として作られる合成高分子化合物である合成繊維、プラスチック、合成ゴムなどの構造や性質について学習する。 <p>上記内容を学習する中で、主体的に化学に関わり、日常生活とのつながりを発見し思考力、数学的処理を身につけることを目的とする。【観点A、B、C、D】</p>
後期	①自己探究課題 ②問題演習	<p>①自己探究課題</p> <p>化学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。</p> <p>②問題演習</p> <p>自らの進路に必要な力を身につける。</p> <p>【観点A、B、C、D】</p>

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数生物発展 A	2 単位	改訂 生物基礎（東京書籍）

科目のねらい

生物や生物現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	UNIT1 「生物基礎の知識と応用」	<p>①生物基礎における既習事項の復習と応用 既習内容を復習する中で、主体的に生物学に関わり、日常生活とのつながりを発見し思考力、数学的処理を身につけることを目的とする。</p> <p>②自己探究課題 生物学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。</p> <p>【観点A、B、C、D】</p>
後期	UNIT2 「生物の応用と発展」	<p>前期の活動から自らに必要な力を振り返り、自己課題として設定し、実験や演習に取り組む。</p> <p>【観点A、B、C、D】</p>

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数生物発展 B	4 単位	改訂 生物（東京書籍）

科目のねらい

生物や生物現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち，積極的にそれらを探究しようとするとともに，事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通し理で，事象を科学的，創造的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。また，数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的，創造的に考察し的確に表現している。
C	観察・実験の技能	観察，実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
D	知識・理解	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し，知識を身に付けている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	生物の環境応答 Unit 1 「動物の刺激の受容と反応」「動物の行動」「植物の環境」	動物・植物の環境応答の仕組みを確認する。 【観点 B, C, D】 自己探究課題 生物学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。【観点 A】
	生態と環境 Unit 2 「生物の多様性と生態系」「個体群と生物群集」「生態系の物質生産とエネルギーの流れ」「生態系と多様性」	生物の個体群と群集及び生態系について、その構造や変化の仕組み，生態系のバランスや生物多様性の重要性についての認識を確認する。 【観点 B, C, D】 自己探究課題 生物学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。【観点 A】
後期	生物の進化と系統 Unit 3 「生命の起源と生物の変遷」「進化のしくみ」「生物の系統」	生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統についての認識を確認し、進化についての考え方を身に付ける。 【観点 B, C, D】 自己探究課題 生物学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。【観点 A】
	問題演習	自らの進路に必要な力を身につける。

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数地学発展 A	2 単位	地学基礎 改訂版（啓林館）

科目のねらい

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方はたかせ、見通しを持って観察・実験をおこなうことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、科学的な見方や考え方を身に付け、事象を的確に考察し表現している
C	観察・実験の技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を科学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている
D	知識・理解	地球惑星科学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	既習事項の確認 Unit 1 「地学基礎の知識と応用」	問題解説を通じ、思考力、表現力、数学的処理を身につける。地学現象が起こる仕組みについて自ら考え、理解し、的確に表現することを目的とする。 【観点 A, B, C, D】
後期	自己探求課題 Unit 2 「地学基礎の探究」	地学に関わる成果物（問題集を使った学習ノートや要点整理、実験レポートなど）をまとめ、主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。 【観点 A, B, C, D】

※ 知識の定着を（自己）評価するため、奇数月はじめにペーパーテストを実施予定【D】

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
理数	6 年次	理数地学発展 B	4 単位	地学 改訂版（啓林館）

科目のねらい

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方はたかせ、見通しを持って観察・実験をおこなうことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている
B	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、科学的な見方や考え方を身に付け、事象を的確に考察し表現している
C	観察・実験の技能	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を科学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている
D	知識・理解	地球惑星科学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	宇宙の構造 Unit 1 「天体の運動」	宇宙に関する事物・現象について観察、実験などを通して探究し、地球の自転と公転、太陽系天体の運動について理解する。 地球の自転・公転に関する実験報告【観点 A, B, C】
	既習事項の確認 Unit 2 「地学の基礎知識」	問題集の輪読・解説を通じ、思考力、表現力、数学的処理を身につける。地学現象が起こる仕組みについて自ら考え、理解し、的確に表現する。 【観点 A, B, C】
後期	探求課題 Unit 2 「地学の探究」	入試問題をきっかけに、地学に関わるテーマを各自が設定し、探究活動を進める。データを成果（問題集を使った学習ノートや要点整理、実験レポートなど）としてまとめ、報告する。主体的に学習する姿勢を養うことを目的とする。 【観点 A, B, C】

※ 知識の定着を（自己）評価するため、奇数月はじめにペーパーテストを実施予定【D】